学校番号	3009

令和8年度　工業科（建築系）

教科	工業科 （建築系）	科目	建築構造	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	『建築構造』（実教出版）						
副教材等	『建築構造演習ノート』（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

鉄筋コンクリート造（RC 造）、鋼構造（S 造）の全体的な構成を把握し、各部の名称や役割、使用されている建築材料の名称や特性及び部材の構成方法を理解しましょう。各種用語については、できるだけ簡潔に建築物を身近に感じてとれるよう習得してください。

また、建築物の各部に作用する荷重に対して、安全性を理解したうえで、その建築構造に関する課題解決力を身に付けましょう。

2　学習の到達目標

(a)建築構造の知識を習得し、設計及び工事監理、工事管理業務に従事する建築技術者に必要な知識と技術を身に付ける。
(b)建築構造の役割を理解し、建設業の主任技術者として必要な思考力と判断力を身に付ける。
(c)各種構造と役割、特性について関心を持ち、主体的に取り組む態度を身に付ける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	設計及び工事監理、工事管理業務に従事する建築技術者に必要な基本的な建築構造の知識を身に付け、建築物を構造上合理的に計画し、その技術を適切に活用する能力を身に付けている。	建設業の主任技術者として必要な課題の解決力と思考を、建築構造の基礎的な知識と技術を基に、適切に判断し表現する能力を身に付けている。	建築構造に関する課題について関心をもち、その改善・向上をめざして主体的に取組み、実践的な態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	鉄筋コンクリート造(RC造)	1.構造の特徴と構造形式 2.鉄筋 3.コンクリート 4.基礎 5.躯体 6.仕上げ 7.壁式構造 8.ﾌﾟﾚｽﾄﾚｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ構造	a:鉄筋コンクリート造に関する基本的な知識を付け適切に活用している。 b: 鉄筋コンクリート造に関する主任技術者に必要な思考力、適切な判断力、表現力を身に付けている。 c:鉄筋コンクリート造に関する課題に関心をもち、主体的に取り組む実践的な態度を身に付けている。	確認テスト	確認テスト	授業観察 提出ノート
後期	鋼構造(S造)	1. 構造の特徴と構造形式 2. 鋼と鋼材 3. 鋼材の接合 4. 基礎と柱脚 5. 骨組 6. 仕上げ 7. 軽量鋼構造と鋼管構造	a:鋼構造に関する基本的な知識を付け適切に活用している。 b:鋼構造に関する主任技術者に必要な思考力、適切な判断力、表現力を身に付けている。 c:鋼構造に関する課題に関心をもち、主体的に取り組む実践的な態度を身に付けている。	確認テスト	確認テスト	授業観察 提出ノート
	合成構造	1. 構造のあらまし 2. 鉄骨鉄筋コンクリート構造 3. コンクリート充填鋼管構造	a:合成構造に関する基本的な知識を付け適切に活用している。 b:合成構造に関する主任技術者に必要な思考力、適切な判断力、表現力を身に付けている。 c:合成構造に関する課題に関心をもち、主体的に取り組む実践的な態度を身に付けている。	確認テスト	確認テスト	授業観察 提出ノート

※ 表中の観点について a:知識・技術 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度